

* 深い泉 STORY

正しい法事

ただキリストの御名と心からの感謝だけが暗やみの力をうち砕く。これから迎える名節（韓国固有の盆・正月）を心からの感謝で過ごし、正しい法事文化を作っていかなければならない。

以前、政府庁舎の公正取引委員会でタラップンをしていたことがあった。今は引退されたが、キム議員は、実力があって有能な公務員であったし、国を思う方だった。経済検察としてのプライドを持って、薄給でも十分だと言って、経済の有益のために、不正をきっぱりと拒否していた。その方は、公務員福音化の重要性を知って、庁舎の中でもキリスト教運動を主導していた。福音メッセージを数か月、聞く間に、その方の周りに受け入れ運動が起きていたある日のことだった。メッセージをする中で、突然に言われたことが、どんなに考えてみても、他の人が受け入れをするのを見て、自分が野次馬になったようで祝福をのがすようだから、私も受け入れをすべきだと思うので、自分が受け入れることができるように祈りを助けてくださいということだった。カンナムの重要な教会の長老であったその方の要求は、福音を正しく聞く者としての当然な要求であったが、公務員でも秘書まで連れてくるその人の位置があったので、それなら、集いのあとに二人でしましようと言ったところ、手を振って拒否して、自分が今、救われたくて、確認したいのに、何が問題でしょうかと、部下 10 人の目の前で受け入れの祈りをした。そのあと、より高位の公職者たちが、その方の部屋に反強制的に引きずられていき、福音を聞いて受け入れることがあって、その方はそれを非常に楽しいことと中の一つと感じていた。

一人の使命者が地域を任されるという答えを確認したのだが、あるときは、ご自分の友だちをナイロン執事だと紹介してくださったが、その方に続け

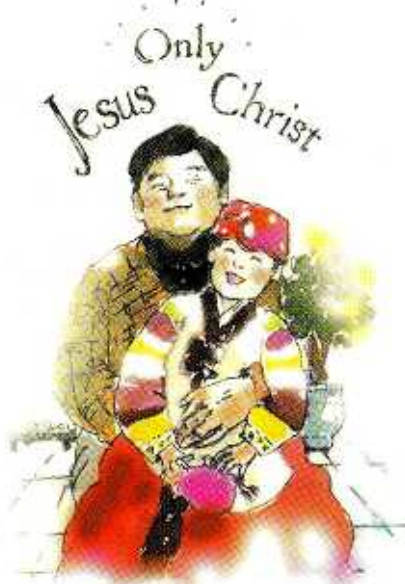
て会って見たら、テレビでもよく出ているある所の局長だった。福音を聞いて、受け入れの祈りをした後で、その方が一瞬、こういう質問をした。「牧師先生、法事をしてもらえますか」と言って、自分は名節（韓国固有の盆・正月）に、追悼礼拝をささげることが、お膳の用意もして、ドアをすこし開いておいて、礼拝をささげるとのことだった。おそらく、宗教に縛られたクリスチャンは、程度の差はあるだろうが、法事についての対処は似たようなものだと思う。亡くなった祖先を追悼して、覚え、記念することは、とても良いことで、望ましいことだ。しかし、死んだ先祖が悪霊になって法事の日に合わせて帰って来

て、法事のお供えを食べて行くという発想は、科学的でも、宗教的でも、真理でもない。しかし、人々は、名節（韓国固有の盆・正月）になると知識のあるなし、貧富の違いをなくして、法事の形式とくびきに、自動的に縛られてしまう。これは、まさしく民族の風習に従って働く暗やみである。暗やみの本質はサタンで、サタンが形になったのが偶像で、偶像の本質は宗教で、その結果は苦しみだ。

名節（韓国固有の盆・正月）になって法事をしてもらおうと先祖が、黒い袋を両手に持って門を開いておくと、家ごとに入ってくると、シャーマンが自信をもって言うけれど、事実は、彼ら自身もだまされているのだ。両親と先祖を装った悪霊にだま

されないで、かえって先祖を苦しめた敵である悪魔を飢えさせて、殴り倒して送りださなければならぬのに、まだ多くの人々がだまされていることも知らずに、だまされるのが心が痛むだけだ。何によっても、神様を離れて悪霊の勢力の下にある生年月日による運勢や運命は変えることができず、ただキリストの御名と真の感謝だけが暗やみの勢力を打ち砕く。今年、名節（韓国固有の盆・正月）には、真の感謝で名節（韓国固有の盆・正月）を送る、正しい祭事文化を作らなければならないだろう。あらゆることに感謝する 24 時間感謝の人の前に、骨がない影とも同じ暗やみは崩れるようになる。

文_チョン・ヒョングク牧師



* The Leader's Time

重職者の役割

重職者は、伝道運動の主演、地教会の主演、時代を生かす世界福音化の主演です。

ヒットラーは画家だったと事実を知っていますか。彼の絵を見れば、600万人を殺した戦争の主犯という感じを全く受けることのできないほど、美しく、叙情的です。それで、ヒットラーの人生は、良い出会いがどれほど重要かを思わせます。税関員だったお父さんと母性愛が深かったお母さんの愛の中でヒットラーは歌と芸術が好きな記憶力が優れた子どもとして、政治、歴史、哲学、芸術に対する博学な知識を持って育ちました。青年時代、画家の道に入ったのですが、病床についたお母さんのために、画家の道を捨てて、生計のために走って行くようになりました。それ以後に、彼に与えられた出会いはユダヤ人に対する嫌悪と憎しみを大きくして、600万人のユダヤ人をガス室に送った冷酷な独裁者になるようにしたのでした。万一、彼に良い出会いがあったとすれば、世の中は大いに変わったでしょう。

すべての人生は良い出会いを望むでしょう。どんな出会いなのかにしたがって、人間はクモのように他人を殺して生きる人生、蟻のように自分しか知らない人生、蜜蜂のように人を有益にする人生の中の一つを生きていくようになります。人間を愛しておられる神様は、最も祝福された出会いのために、イエス・キリストを送ってくださいました。このイエス・キリストとの出会いを通して、人間はすべての不幸をぬぐい去って、最も幸せな人生を生きていくことができます。これが神様の願いです。

良い出会い 神様がこの願いを成し遂げられようと重職者時代を開かれました。重職者は、この良い出会いの主演です。重職者が現場で福音の光を持って立ち上がる時、暗やみに陥ってさまよう第2、第3

のヒットラーのような人生を防げます。はじめにはパン種のように、からし種のように見えるかもしれませんが、全地に広がって、大きい木になる伝道運動の実を見るようになるのです。そうすれば、必ず弟子、レムナントが集まるようになっていきます。隅々で光を照らす地教会のシステムが立てられるようになります。この弟子らが持続的に力を得て、世界に向かって目を開ければ教会に連結します。すでに主の光が皆さんの上に臨んでいます。今は起きて光を放つだけで良いのです。良い出会いの開始は信仰です。

伝道者の祈り

福音的な重職者として RUTC 時代、OMC 時代、重職者時代の確実な青写真を持って生きるようにさせてくださる神様に感謝をささげます。私一人のいのち的献身で、行くところごとに神様の国が臨むようにして下さり、私一人のいのちをかけた献身で行くところごとに弟子を立てるようにさせて下さり、私一人のいのちを生かす献身で行くところごとに暗やみに陥ったたましいを生かさせてください。なによりもまず、神様が私に与えてくださったみことばを握って、大きな恵みを味わい、神様が備えられた祝福をまず見させてください。神様が与えてくださる力を受けるように定刻祈りの深い奥義の中に入らせてください。そして、神様の働きの書に残る証人として栄光をささげさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

* 今週の黙想

最高の方法は真の信仰

ある人が不平を言いました「私は服もない、靴もない、食べるものもない・・・」これは一言で「お金がない」ということです。私たちはもしかして、そのように言っていないですか。「私は問題も多くて、葛藤も多くて、できることはなくて、答えもない・・・」この言葉は、一言でいうなら「信仰がない・・・」

青写真の信仰 先週一週間は、ある中堅歌手の記者会見に、人々の注目が集まりました。彼は40年歌手生活をしながら、自ら胸にこめていた告白をしました。

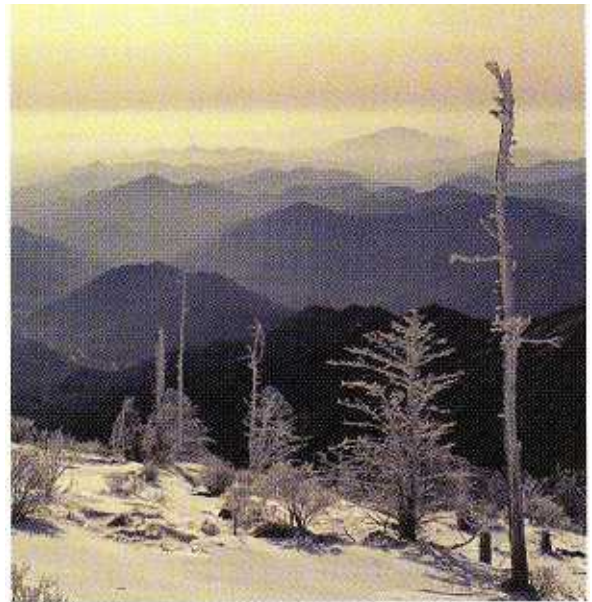
ファンが満足できるほどの約束、公演の前での真実、持続できる夢をいつも持っていなければならないと自分の所信を明らかにしました。神様の子どもが抱かなければならない心も、それと違いがありません。神様がくださった契約と、その契約に対する真実の信仰、そして契約の中で与えられた青写真をいつも描かなければなりません。

RUTC時代、OMC時代、重職者時代は、神様が準備してくださった約束であることが明らかなので、信じるだけでよいのです。その信仰が、一つの地域を生かす千の働き、一つの国を生かす強国の働きとして答えられます。今が信仰が私たちの時刻表です。

三つの信仰 この信仰が流れる道があります。考えの中に信仰が流れれば、全てのものが機会になります。現実(問題)をながめる私の視線の中に信仰が流れれば、解答と答え、時刻表が見えます。私の人生の方法が信仰ならば、成功者の器になります。この三つの信仰が私を生かして、みんなを生かすようになります。

レムナントの信仰 特にレムナントは、家庭の姿の中に未来の結婚の中に、もしかしたら失敗した現場の中にも神様のメッセージが含まれていることを知って、完全福音、霊的戦い、未来を準備する信仰の中に入れば良いのです。家庭を通して握った契約が教会を通してくださるみことば成就の答えとして味わえるようになります。

信仰の鍵 人間はしないようにしても不信仰、迷信、狂信の中で、より大きい困難にあうようになります。それで神様はメシヤ(キリスト)を約束されて、イエ



ス・キリストが来られて、信じる者ごとに永遠のいのちをくださって、さばきから解放して、死からいのちに移してくださいました。

イエス・キリストを信じる時、聖霊で働いて、行く所ごとに天の軍隊を送って守って、暗やみ(サタン)の権威が砕かれるようになります。今日も真の信仰のなかで神様が与えてくださる新しい力を得てください。

説教_柳光洙牧師,整理_チャ・ドンホ牧師

- ・産業宣教 福音を持つ重職者(イザヤ 60:20-22)
- ・伝道学 今日を味わう方法(コリント 6:1-2)
- ・核心訓練 レムナントの結婚のために祈りましょう(列 8:16-24)
- ・聖日1部 神様を知ることができる道(ヨハネ 5:19-29)
- ・聖日2部 真の力(マタイ 28:18-20)

* 幸せを探す方へ

名節（韓国固有の盆・正月）症候群の実体

今年の名節にも、4千7百万人が故郷に向かって移動します。家族全員に出会う日は、確かに幸せで感謝な日です。しかし、名節の時ごとに、うれしくないけれども聞こえてくる知らせがあります。名節症候群です。名節の前後に争いが起きて、多くの人が苦しみます。名節前後の犯罪件数は2倍に増加して、名節後にはもっと2倍に増加するという統計が出ています。楽しい名節に、なぜこのように苦しみが増加するのでしょうか。

人は、運命だと言いながらも、幸せのために、もがきます。それで、占いをして、迷信を信じて、法事を行います。ところで、問題は苦しみが続くという事実です。お祓いをせず、法事を行わなければ、どうなるのでしょうか。もっと大きい問題がきます。先祖が罰を下すのでしょうか。違います。人々はムダン（霊媒師）が悪霊につかれて、占いをすることは認めるのですが、家庭と家系の現場に働く悪霊の勢力は認めようとしません。はたして聖書が語っているサタン(悪魔)、悪霊の働きはないのでしょうか。

失敗の理由 聖書には、本来人間は神様とともにいる霊的な存在として創造されて、万物を治めて征服する祝福された存在で創造されました。ところで、人間がサタンの悪賢い策略にだまされて、神様に不順従になり、神様を離れる罪を犯すようになりました。この時から人間の運命は、サタンに左右されて、呪いと苦しみの中に陥るようになりました。それでいつも平安がなくて、世の流れ、迷信、占い、偶像に依存するようになったのです。真の満足がなくて、不安と不眠症、うつ病、不平不満など、あらゆる精神問題に捕われるようになりました。葛藤と悩みの中で、体の病気と悪夢、反復する失敗に苦しめられるようになって、人生はますます虚しくなります。結局、人間は子どもにも霊的遺産という家系の呪いを残したまま、永遠に地獄の火の審判台に立つようになるのです。

問題の答え 人間はこの問題を解決してみようと、あらゆる努力をつくして見るのですが、解決することができません。それで神様は、聖書で約束された通り、イエス・キリストを送って、人間の代わりに十字架で血を流して死んで、復活してくださいまし

た。サタンの権威と私たちの罪の問題を解決して、神様会う道を開いてくださいました。だれでもイエス・キリストを信じて、心に受け入れれば神様の子どもになります。罪と死の原理から解放されて、サタンの権威と運命のくびきから抜け出して、神様がともにおられる人生を生きるようになります。

今、あなたの運命を変えられます。 今、イエス・キリストを私の心の主人で受け入れれば良いのです。そして、イエス・キリストの名前を呼んでみてください。あなたと家庭と家系を困らせたサタンの勢力、悪霊の勢力は縛られて離れるようになります。

愛の神様。私は罪人です。私のために十字架で死んで、復活して下さって、罪とサタンの権威を打ち壊して下さって、私の人生の問題を完全に解決して下さったイエス様を、今、この時間、私のキリストとして私の主人として、私の心の中に受け入れます。私の心の中に入って来て下さって、私を永遠に治めてくださり、神様の子どもとなった祝福を味わって生きますように。私を救って下さったことを感謝して、イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



*相談をしたい方はこちらまで連絡してください